
斉藤祐樹の共感

きら

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

斉藤祐樹の共感

【Nコード】

N0276B

【作者名】

きら

【あらすじ】

有名人と同姓同名ってやだね。おかげでハンカチハンカチって言われるようになったよ。そんな斉藤祐樹くんが自分の体験談を話す物語です。

（前書き）

本当にくだらないです。

誤字修正。 10 / 10 火曜日

正直に言おう。俺は挙動不審である。

いきなりなにを言っていると思った奴。お前も挙動不審だろ？

人ごみの中を一人で歩いてしていると無意識的にキョロキョロしちゃうだろ？ わかる？ わからない？ あ、そう。例えが悪かったな。

コンビニの前で友達と待ち合わせしてることにしよう。その時は集合時間より20分ほど早くついてしまったのでコンビニの中で時間をつぶすことにした。そこで適当な週刊誌を立ち読みしていると、なにやらキョロキョロしてしまう。店員から見れば俺の行動は万引き実行前の人に見えるに違いないね。しかし俺は万引きするつもりなど一切無く、ただ考えていた。「あーどうしよう。店員にめっちゃ見られてるよ。やっぱなにか買った方がいいのかなー」と。わかるだろ？ 最終的には30円のチュッパチャップスだけ買って出て行くんだ。わかるだろ？

そんな俺が今まで体験した、ちょっと共感できそうな物語を話していききたいと思う。

ある日。俺は友達の家に行った。そいつんちは本やら漫画やら色々有って、一日いても飽きない場所だ。

「なにかお勧めないか？」

と聞いてみる。

「これなんかおもしろいな。古いけど」

と言われ、ボクシング漫画を60冊くらい置かれる。

そんな古いのが本当におもしろいのか？ と思いつつもペラペラと読んでみると…いやはや、読んでみるもんだ。12ページ辺りから既におもしろい。ギャグとかそういうおもしろさじゃなく普通におもしろい。まじで。

「な？ おもしろいだろ？ それってまだ続いてるんだぞ」

「俺も集めよつかない」

と思い立った俺は次の日、近くのB.O.O.(↑自己規制)K.O.F.Fに向かった。

105円コーナーにボクシング漫画があることを確認し、まあ…どうせだからすぐには買わないで少し立ち読みしていこう…と思ったのが間違いだった。

どうでもいい話だが男にとって少女漫画コーナーってのは入りづらいよな。なにやらあそこだけ聖域のような気がするのは俺だけか？ 女はいいよな。普通に少年誌のそこ行けるし。

軽く立ち読みするぐらいのつもりだったが…ここは恐ろしい。気付けば3時間経過している。

ということで俺は当初の目的だった、ボクシング漫画を買おうと105円コーナーに向かったのさ。そのコーナーにはちよつとB系なお兄さんが立ち読みしていたんだ。だからといって俺は気にすることなくボクシング漫画を軽く10巻ぐらいまで買おうとしたら…4巻が抜けている！ さっきまで有ったのに…もしかして買われたか？

いや…あつた…。B系のお兄さんが読んでいるよ…。どうしよう…。こんなとき…ライ。カードがあれば…と、内ポケットを探る俺がいた。わかるだろ？ 当たり前だがいくら内ポケットを探ってもなにもでてこない。いや…チュッパチャップス(オレンジ)が出

てきた。

こんなとき俺は頭の中で選択肢を3つほど作る。

1、 勇気を出してB系のお兄さんに話し掛ける。

2、 しばらく待つ。

3、 B系のお兄さんに殴りかかる。

俺は迷わず2という選択肢をとり、他のコーナーに移動した。決して怖いからとかそんなんじゃないぞ。

またまたどうでもいい話だが、本屋で巻がちゃんとそろってないと気にならない？ 1巻、2巻、3巻、5巻、4巻、6巻……とか並んでたら気になるよな？ ついつい直しちゃうよな？

軽く1時間が経過した後105円コーナーに向かった。

まだB系のお兄さんいるしな……。いや、けど読み終わってるかな？ よっしゃ！ 4巻あるよ！ テンションあがる！ って7巻ねえし……。またB系のお兄さん読んでるよ……。よし！ 今ならライ。カードが出せるような気がする……。と、右のポケットを漁る俺がいた。結果はわかりきっているが、一応言っておこう。何も出なかったよ。いや…ス。ツパが出てきた。右のポッケ…って今はそんなんいらん！ もつと腹が痛いときにでてこい！

こんなとき俺（以下略）

1、店員を呼びに行く。

2、店員がかわいい女の子だったら口説く。

3、帰る。

3ですね。はい。さようなら。

それから俺がボクシング漫画を買ったのは3ヶ月あとの話である。

話を変えて、俺が深夜にコンビニに買い物に行ったときのことを話そう。

「いらっしやいませませ」

うわ、初めて「ませませ」言ってる人見ちゃったよ。しかも女の人だ。ちよつと感動した。

俺は毎週買っている週刊誌フラ。デー（これが以外におもしろい）を手に取り、後はお茶2本にチュッパチャップスを23本ほど持ってレジに向かった。ピ、ピ、とバーコードを読み込む音が俺は好きだ。

「合計で1万と……あ、間違えました」

そう、これ。よくある。なぜか俺にはよくある。

「すいません。なんだかレジが故障しちゃったみたいなんですよー」
多分あなたの使い方がおかしいようにも見えますが。

「あー、そうなんですか」

「すいません。計算しますからちよつと待つてください」

女店員はなにやらメモ用紙で計算を始めている。メモ用紙をさりげなく除くと、「フ。イデー 300円、お茶 145+145

＝290円、チュツパ 30+30+30+30+30+………
+30＝588円」

計算の仕方おかしい！ チュツパ全部30円なのに、なぜ8円がつく！？ ていうか588円ってなんだ！ 普通に690円だろ！

「えーと…合計で1587円になります」

明らかに間違えてる！ メモ用紙には「300+290+588

＝1587円ぐらい？」と書いてある。だるくなつたからつて計算やめるな！

しかし俺は気が弱いので間違いを指摘できない。

さあどうする？ まあいいか。と、1秒で解決。

「あ、別に1500円でもいいですよ。めんどくさいんで」

コイツ仕事なめてるな。と思いつつもお言葉に甘え財布から1000円札一枚に1000円玉5枚を出した。

「1000と1、2、3、4、500円丁度お預かりになります」

その言い方だけちよつと本格的だった。

「ありがとうございましたー」

そのコンビニは1カ月後には無くなっていた。

（後書き）

制作時間2時間ほど。

本編に時間かけたほうが良かったかもしれないです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0276b/>

斉藤祐樹の共感

2010年10月17日15時09分発行